

第2回銚子市外川漁港海業推進地域協議会 会議概要

- 1 会議名 銚子市外川漁港海業推進地域協議会
- 2 開催日等 令和8年4月14日（火） 午後3時00分～4時00分
- 3 概要
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ

銚子市長	外川地域の豊富な地域資源を最大限に活用し、漁業振興と地域の賑わい創出に邁進する。本事業の核心は「意欲ある民間事業者の参画」にあり、協議会をはじめとする関係各所との対話を深化させることで、民間事業者の進出意欲を誘発する実効性の高い「海業推進事業計画」の策定を目指していく。
信田県議会議員	外川地区は、千葉ブランド水産物認定第1号である「銚子つりきんめ」に代表される資源管理型漁業など、優れた地域資源を有している。現在、銚子市による「南海岸エリアビジョン」の策定や、千葉県による名洗港のサウンディング調査が実施されており、外川漁港との広域的な連携も視野に入れることが可能である。本事業を通じて、海業の先駆的なモデルケースを構築すべく、皆さんと一緒に協議をし、進めてまいりたい。
宮川県議会議員	本事業においては、民間事業者に対する訴求力のある計画の提示と、民間事業者による波及効果の高い事業の創出が鍵となる。海業を軸とした外川地域全体の活性化を目指し、皆さんと一緒に本協議会を良い協議の場としたい。

(3) 議題

- ①銚子市外川漁港海業推進地域協議会設置要綱について
- ②銚子市外川漁港海業推進地域協議会委員について
- ③銚子市外川漁港海業推進事業計画策定に係る公募型プロポーザル実施について
- ④公募型プロポーザル選考委員会について
- ⑤その他

4 協議会内容

(1) 議題①銚子市外川漁港海業推進地域協議会要綱について

②銚子市外川漁港海業推進地域協議会委員について

<p>事務局 (銚子市水産課)</p>	<p>資料1 銚子市外川漁港海業推進地域協議会 設置要綱(案)について、委員から修正等の意見はなかったが、事務局で、第3条について修正を行った。</p> <p>前回案では、第1号が、外川漁港の施設等活用に関すること。第2号が、漁業や地域資源を活用した外川漁港及び周辺地域の振興・活性化に関すること。第3号が、前各号に掲げるもののほか、漁業の振興及び海業の推進に必要な事項となっていたが、第3号に記載してあった、「海業の推進に関すること。」を抜き出し、第1号に記載することとし、前回案の第1号を第2号に、第2号を第3号に、第3号を第4号とした。その他については、以前の設置要綱(案)から変更点はない。</p> <p>また、委員については、別紙「委員名簿」のとおり。</p> <p>●議題①及び②について、異議なしのため承認とする。</p>
<p>議長 (水産課長)</p>	<p>承認された、設置要綱の第5条第2項の規定により「会長、副会長は委員の互選により選任する。」となっているが、委員から発言がなかったため、事務局が会長を千葉科学大学 木村栄宏 教授、副会長を銚子市漁業協同組合 大塚憲一 専務理事とする案を委員に諮ったところ異議なく承認された。</p> <p>●会長 千葉科学大学 木村 栄宏 教授 副会長 銚子市漁業協同組合 大塚 憲一 専務理事を選任。</p>

(2) 議題③銚子市外川漁港海業推進事業計画策定に係る公募型プロポーザル実施について

<p>事務局 (銚子市水産課)</p>	<p>資料2 銚子市海業推進事業計画策定支援等業務委託仕様書(案)について、「4. 業務の目的」～「6. 想定される策定スケジュール」を中心に説明。</p> <p>「4. 業務の目的」について、「海業推進の実効性を高めるために外川漁港及び周辺地域の地域資源や土地利用条件等を整理し、周辺環境との調和に配慮しつつ、外川漁港周辺の将来像及び段階的な事業化の方向性を踏まえた銚子市外川漁港海業推進事業計画を策定することを目的とする。」と明記した。</p> <p>「5. 業務内容」については、(1)～(8)までを説明。(1)及び(6)に本協議会、作業部会で議論された内容や意見を反映させる旨を明記した。</p> <p>「6. 想定される策定スケジュール」について説明。2月中には事業計画の策定を想定している。</p> <p>●議題③について、異議なしのため承認とする。</p>
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>事務局 (銚子市水産課)</p>	<p>作業部会は設置要綱に記載してある別表（第4条関係）関係機関から実務担当者レベルで参加者を出していただく予定。必要に応じてコンサルなど専門的な知識を持った方を招聘し、意見交換を実施したい。参加人数に制限はないが、会場の収容人数は約40人程度が限界であるため御配慮願いたい。作業部会の部会長は事前に決定予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>各地の海業推進地域協議会に参加しているが、漁協や漁業者は非常に不安な思いで協議会に参加している。協議会であれ作業部会であれ、漁業者等関係者と密に意見交換を行いながら、どのような施設や事業だと漁業者の利益につながるのかを考えて、丁寧に進めていただきたい。</p>

③銚子市の考えについて

<p>委員</p>	<p>外川地区でどのような事業を行い、事業者を選定していくのか。銚子市の考えを聞かせてほしい。</p>
<p>銚子市</p>	<p>サウンディング調査を実施し、民間事業者がどのような事業であれば収益性があり、長続きするののかといった部分は非常に重要であると考えます。また、外川地区の漁業振興に寄与する事業や地域資源を活かした外川地区の賑わいを作り出す事業などが考えられる。今後、コンサルが入ったうえで、議論を重ね、計画を策定していきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>外川の活性化と漁業の所得向上に加え、長期的なことを考えた場合、水産資源の適切な管理や環境への配慮が必須となる。MSC 認証（環境に配慮し持続可能に管理された天然水産物「海のエコラベル」に対する国際認証）や ISO 認証といった国際的な規格適合の証明を取得することも将来的には必要になってくるのではないかと。</p>

④どのような事業者が参入すると考えられるか

<p>委員</p>	<p>県の作成した「漁港施設等活用事業の推進に関する計画」（活用推進計画）を基に事業者を選定していくと思うが、具体的にどのような事業者の参入が考えられるのか。</p>
<p>県漁港課</p>	<p>富津漁港下洲地区が千葉県第1号の事例。旭市飯岡漁港の活用推進計画も今後策定予定。県内でもこのスキームで実施している地域が少なく、具体的な事例はお示しできないが、漁協が主になって進めたい地区と、外部から事業者を呼び込みたい地区があり、外部から事業者を呼び込むのは難航している。地域協議会で事業内容と場</p>

委員	<p>所をあらかじめ決定し、事業者に目星を付けておくことが重要。</p> <p>事業者の決定に関しては、県のみでは対応が難しく、水産庁のマッチング会等の活用を検討していただきたい。</p> <p>漁港施設等活用推進計画を策定している地域が全国でも少なく、どのような事業者が参入を考えているのかといった具体的な事例を申し上げることは現状難しいが、今後他地域で進むようであれば、本協議会を通じて情報共有できればと考えている。</p> <p>民間事業者の提案に対して、協議会等の意見を反映させるイメージだと思う。事業者選定にあたっては、地域協議会と情報共有を図りながら、より良い事業者が選定できるようにしていただきたい。</p>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

以上